

令和4年度にご寄附いただいた皆さまへ

令和4年度宿毛市ふるさと寄附金活用状況報告書

おかげさまで、全国の皆さまからたくさんのご声援をいただいております。
令和4年度にご寄附をいただいた皆さまに活用状況をご報告させていただきます。

(令和5年3月末現在)

のべ**66,882**件

総額**6億5,888万7,000**円



未来を担うひとづくり事業	30,676件	285,484,800円
豊かな文化とからだを育むまちづくり事業	3,776件	33,791,700円
みどりと自然あふれるまちづくり事業	12,062件	136,313,200円
活力のあるまちづくり事業	4,075件	39,855,900円
市長が必要と認める事業（お任せ事業）	16,293件	163,441,400円

活動事業

令和4年度は、合計3億6,331万8,000円を様々な事業に活用させていただきました。
(いただいた寄附金は、その用途ごとに基金に積み立て、必要な事業に取り崩して活用しています。)

放課後子ども教室推進事業

子どもたちが放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・交流・学習活動ができる場の提供をしています。5つの小学校区で、学習支援、スポーツ活動、工作教室などが行われています。子どもたちが、様々な体験をしたり、地域の方たちと一緒に活動したりと貴重な体験をすることができています。



宿毛でお花おもてなし事業

明るくきれいな街づくりや観光振興を推進するため、ボランティアの皆さまに公共の場にお花を植えていただく事業です。

令和4年度は26団体が参加していただき、宿毛に来られた方をたくさんのお花でお出迎えできるように、子どもから高齢者まで様々な世代が活動しました。

生きがい大学

市内在住の60歳以上の方を対象に、知識と教養を高め生きがいと健康づくりを推進することを目的とし、年6回の生きがい大学を開催しました。
コロナ禍で外出自粛が続く中、参加者が笑顔で体も心も元気になるよう健康運動や笑いの話で楽しみ、貴重な学びの場や交流の場となっています。



など101事業

ご寄附いただいた皆さまへ

この度は、高知県宿毛市に心温まるご寄附を賜り、誠にありがとうございます。市民を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。お預かりしました寄附金は、皆さまのお気持ちにお応えできるよう、大切に活用させていただきます。

四国の西南端に位置する宿毛市は、温暖な気候と「海・山・川・島」が揃う、自然豊かなまちです。約 1,000 種もの魚が生息し、「魚のゆりかご」「天然の養殖場」とも称される宿毛湾で獲れる魚は絶品で、ブリ・タイを中心とした養殖業が盛んです。農林業では、約 84%の森林率を有する豊かな森林があり、恵まれた気候・風土を活かしてオクラやいちごなどの農産物を生産しています。中でも、文旦・小夏・直七といった柑橘類は、全国有数の産地となっています。

さらに、早稲田大学建学の母と慕われる「小野梓」、小松製作所の創業者である「竹内明太郎」、近代ヒューマンイズムの先駆者「大江卓」など、明治以降の日本に大きな影響を与えた偉人を多く輩出した“文教のまち”でもあります。

近年は新型コロナウイルス感染症や急激な物価高騰などにより、市民の生活に大きな影響が及ぶ中、地域経済の活性化が、より一層重要性を増しております。

新型コロナウイルスも今年5月には5類に移行し、徐々に人の流れも元に戻りつつありますが、今後も引き続き感染症対策をすすめ、誰もが安心して暮らせる、賑わいと活力に満ちたまちづくりに向けて取り組んで参ります。

最後になりましたが、皆さまにおかれましては、お身体にはくれぐれもご留意ください。豊かな自然と温かな人柄があふれる「宿毛市」で、皆さまにお会いできます日を、心待ちにしております。今後も変わらぬご支援、ご声援をお願い申し上げます。



宿毛市長

中野 尚彦